

玉島製造所生産管理システムの更新について

JFE鋼板株式会社（代表取締役：小川満）は、玉島製造所の26年間稼働している生産管理システムを全面更新し、2020年1月に新システムに切り替えることを決定いたしました。これにより、

- 1) 大型のメインフレームからオープン系サーバーへの移行
- 2) システムエンジニアが減少するCOBOLから主流であるオープン系言語へ移行

を実施いたします。

また、今回の玉島製造所生産管理システムは、東日本製造所生産管理システムへの展開も視野に入れた設計としています。

今回システム更新では、業務の標準化、情報の可視化、共有化による、日常管理レベルの向上および、生産計画・原材料調達・在庫・原価・品質管理等の業務の最適化を実現することを狙いとしております。

一連の生産管理システムは以下の特色を有しています。

- 1) システム開発効率を高めることによるコスト低減と設計期間の短縮：

生産性の高いオープン系言語の採用と、16年間に渡って鉄鋼業界で運用され、ノウハウが蓄積されたJFEシステムズ株式会社の鉄鋼業に特化したビジネスモデルを活用することにより、システム開発効率を高めます。玉島製造所の生産管理システムは、COBOLの比較的大きなシステムですが、この工夫により、基本設計から稼働までを1年3ヶ月という短期間で完了させます。

更に、東日本製造所への適用と共通化を視野に入れた事前検討を開始しており、東日本製造所の主要機能更新においても工期短縮を目指しています。

- 2) 最新機能の導入：

以下の事例に示すような新規機能の導入に努めています。

- ① グラフィック表示を含むマンマシーン・インターフェースの充実
例えば、コイル置き場の3D表示

- ② Excelと親和性が高く、データの二次加工がしやすい仕組み

- ③ タブレット端末を活用した在庫管理・外注加工管理

- 3) リモートメンテナンスやシステムエラー時の自動メーリング機能によるメンテナンス機能の向上とコスト削減

- 4) 万全のBCP対策

JFE鋼板株式会社は今後もシステム更新を継続し、顧客満足度の向上や販売・生産活動の安定化に注力してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

J F E 鋼板(株) 総務部総務室 03-3493-1326